

道徳教育夏季研修会 (7/26実施)

【研修会テーマ】

「自己の生き方について考えを深める授業を実践できる教師になろう

～深い学びをつくる内容項目のポイントとは～」

【研修会では】

藤森中学校の池田先生の授業を視聴し、「深い学び」に向かう授業について考えました。

その後に行ったワークショップで、「深い学びにつながる授業」を考えて、指導案の「中心場面」、「ねらいの設定」、「中心発問」を話し合いながら考えました。

研修会企画者の岡田先生に

インタビューをしました。

〈桃山中学校 岡田先生〉

○研修会を実施するにあたって、実施したかったことや工夫したことは何ですか？

オンラインでの開催ということで、なるべくみなさんと共有しあう時間や実際の授業の様子を感じてもらえる機会を作れるように工夫しました。本当は、集合研修で意見交流や模擬授業などをしたかったのですが、それができなくなってしまったので、少しでも一緒に研修ができている雰囲気を作りたい部分を工夫しました。

○研修会を実施してみて、良かったと思ったことや自分のためになったことは何ですか？

池田先生とたくさん話しができたこと！これが一番ですね。池田先生との授業づくりは、今までの経験の中で一番、教材と向き合ったと思います。池田先生の授業はすごい！という噂を聞いていたので、実際の授業を見たときは感動でした！私と授業のスタイルが違うので、お互いの考えを取り入れて授業をつくるのが楽しかったです。

○夏季研修会を実施して感じたことなどはありますか？

参加してくださった先生方が、参加してよかったと思ってもらえる研修を目指しました。何より、参加してくださった先生方の活発な議論のおかげで成功したと思っています。手伝ってくださったみなさま、参加してくださった先生方、本当にありがとうございました！！

続いて、授業者の池田先生にインタビューをしました。

〈藤森中学校 池田先生〉

○研修会を実施するにあたって、実施しなかったことや工夫したことは何ですか？

深い学びという抽象的なものを具体化（言語化）することです。道徳の「いい授業」ってどんな状態だろう？「深い学び」ってどんな状態だろう？ということを考えることで、自分に足りない部分に気づけたり、次はこんな工夫をしてみようと思ったりすることができるのではないかと考えたからです。参加してくださった先生方も「方法論」だけで終わるのではなく、教師の役割は何かという「在り方」について考える場になれば、うれしいなと思っていました。

○研修会を実施してみて、良かったと思ったことや自分のためになったことは何ですか？

自分自身が「深い学び」について問い直せたことです。木下先生・岡田先生と、チャットを使って、何度も打ち合わせすることで、自分の考えを言語化することができました。やはり、教師の共通言語は「授業」だなと実感し、同じ授業を土台として、議論していく有効性を感じました。僕自身、授業を見ていただき、木下先生と岡田先生のフィードバックをもらったことが財産となりました！！

○夏季研修会を実施して感じたことなどはありますか？

たくさん準備してくださり、ありがとうございます。道徳研の先生方のように、熱量のある方がおられるからこそ、道徳の授業がレベルアップしていったと感じました。

受講者の先生方にもインタビューしてみました。

〈大原野中学校 木下先生〉

○今回の夏季研修会でテーマになっていた「深い学び」について先生はどのように考えますか？

対話を通して、自分の考えを構築していくことです。自分との対話・教材との対話・他者との対話を通して、自分の考えだけでなく、いろんな角度から物事を見て、考えをより深めていくことが、深い学びにつながるのではないかと考えました。

○今回の夏季研修会を受講して勉強になったことや受けてよかったと感じたことは何ですか？

「話したい」と生徒が自ら思う授業づくりです。実際の池田先生の授業を視聴し、生徒が「自分の考えを聞いてほしい」「話したい」と思いながら、授業を受けていることがわかりました。発問の仕方や授業の中心を教師自らが深め、授業を行っていくことで、生徒がワクワクしながら授業を受けられるのだと改めて感じました。

〈下京中学校 藤井先生〉

○今回の夏季研修会でテーマになっていた「深い学び」について先生はどのように考えますか？

道徳的諸価値の理解から突き抜けて子どもたちが新しい考え方を見つけ出し、それにむかって生きていこうとする内発的動機づけを促すことです。導入と、終末で同じ意見を子どもがいうようでは、授業の意味がないということだと思います。

○今回の夏季研修会を受講して勉強になったことや受けてよかったと感じたことは何ですか？

テンポのよいのはすばらしいが、同じテンポでつづけるのは、リズムカルとは言えないということだと思いました。いろいろ考えている先生もたくさんおられるということが勉強になりました。ブレイクタイムでいろいろお話ができてよかったです。また、深い学びとは、道徳の授業の究極の目標です。二十年以上研究していますが、いまだにその境地に達していません。そのような子どもの変化をみることは少ないです。生涯研究する課題と思います。

〈加茂川中学校 寸田先生〉

○今回の夏季研修会でテーマになっていた「深い学び」について先生はどのように考えますか？

様々な学習や経験に、他人の意見を取り入れつつ、実際自分の人生にどのように生かしていくかについて深く考える学びだと思います。先の読めない時代の中で、道徳や教科を通して深い学びを続けることで、これから未経験や想定外の問題にであうときも、深い学びがこれから生きる力になると考えているためです。

○今回の夏季研修会を受講して勉強になったことや受けてよかったと感じたことは何ですか？

生徒の発言を引き出す方法、クラスの生徒のいかし方を学べたことです。池田先生の授業は、生徒一人ひとりが生き生きして発言することができていました。発問と発言のテンポが工夫されていて、子どもたちがよく考え交流することができていました。他には、子どもが交流を通して学びあいを深めていくように、授業を作っていく中で、教師同士で意見交換したり、話し合ったりすることは、とてもいいなと改めて思いました。

